



たむらの夏、 ここにあり

響きわたる太鼓の音、夜空に輝く色とりどりの大輪の花々…。
たむらを代表する夏の風物詩、イベントが各地で開催され、過ぎ行く夏を惜しみながら大勢の人々にぎわった。

8月13日には、大越町で「鬼の里納涼夏祭り」。

カラオケ大会で幕を開け、スポーツ民謡やよさこい、おごえ（大声）大会が会場を盛り上げる。

夕暮れを迎えるころには、地元大越町の歌手藤めぐみさんの歌謡ショー、初開催のほしぞら寄席では、テレビでおなじみの三遊亭好楽さんが、軽妙な話術で会場を沸かせた。

鬼五郎幡五郎和太鼓保存会の勇壮な演奏で熱気に包まれ、興奮さめやらぬままに続く花火大会では、大空

一面に花火が打ち上げられ来場者を魅了した。

8月15日には、常葉町で「サマーフェスティバル」ときわお盆の夕べ」が開催された。

この催しは、今までこどもの国ムシムシランドで開催されていたが、震災の影響で会場を移し、お盆の夕べと併せて開催されたもの。

虫にちなんで先着64人にカブトムシがプレゼントされたほか、恒例のカブトムシ大相撲大会、キャラクターショー、よさこいとさわステージ、さらには紅晴美さんの歌謡ショーなど多彩な催しが例年以上に会場を盛り上げた。

お盆の夕べでは、甚子どもたちが盆太鼓を披露。震災からの復興や先祖の冥福を願うメモリアル花火も打ち上げられた。

いずれの会場でも、復興を信じてやまない多くの来場者が訪れ、過ぎ行く季節を惜しみながらも、ふるさとのイベントを満喫した。

